1．数値目標の達成状況の確認（確定値）

様式4－①　都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指　標		単位	従前値	目標値	事後評価						フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別		目標達成度	1年以内の達成見込み					理由	改善策の方向性	
指標1	浸水対策に伴う貯水量	㎥	0	10,000	10,630	確定		○	あり		10,630	R2年3月	○		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	自然型簡易調整池整備及び雨水幹線の改修により、10,000㎥分の浸水被害の軽減が適切に図られた。
						見込み	●		なし							
指標2	防災情報ﾈｯﾄﾜｰｸの課題の解消	%	0	100	87	確定		△	あり		100	R2年3月	○		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	想定よりも早く整備が実現し、防災情報ネットワークが充実された。
						見込み	●		なし	●						
指標3	刑法犯認知件数（伊勢原駅南）	件	74	64	61	確定		○	あり		52	H31年4月	○		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	防犯カメラの設置により、刑法犯認知件数の減少が確認され、一定の防犯効果が認められた。
						見込み	●		なし							

事後評価シート　様式2-1及び添付様式2-①から転記　※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4－②　その他の数値指標の確定

指　標		単位	従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別		達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1						確定					H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
						見込み									
その他の数値指標2						確定					H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
						見込み									
その他の数値指標3						確定					H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
						見込み									

事後評価シート　様式2-1及び添付様式2-②から転記　※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

２．今後のまちづくり方策の検証

様式4－③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート　添付様式5－③に記載した 今後のまちづくり方策（事項）		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題　その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	防災設備等の機能を適切に発揮するための管理体制の構築	防災訓練や防災研修を実施した。	防災設備等について、地域との協働による自主的な管理体制を構築されるとともに、災害に対する意識醸成を図られた。	
	調整池等の定期的な点検・診断結果に基づく計画的な維持保全	業務完了時および定期的な点検を実施した。	非常時に機能が適切に発揮されることを確認した。	
	防犯カメラの継続的設置と運用	・防犯カメラの適切な運用を図った。 ・地元住民による防犯パトロール等の実施した。	昼夜を通じた安全安心な地域環境の向上を図られた。	
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他　必要な改善策	防災無線デジタル化の推進	防災情報ネットワークの更なる充実に向けて、他補助制度の活用を含めた早期の整備や今後の整備方策を検討した。	早期の整備が実現された。	
	都市の拠点における 安心安全なまちづくりの推進	伊勢原駅北口周辺地区の整備に向け、検討を行った。	引き続き事業の具体化に向け、検討を進める。	

事後評価シート　添付様式5－③から転記

様式4－④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題　その他特記事項